



2022年 第8号 ご挨拶

上海も夏の暑さが和らいできました。上海ロックダウンのダメージが残りつつも回復傾向を見せる中国経済ですが、数は少ないものの断続的にコロナ感染者が発生しています。これを受け、上海ではマンションの棟毎の封鎖が散発的に続いており、人々の行動と消費者マインドに少なからず影響を与えています。PCR 検査の結果を表示するアプリが中国で全国統一されておらず、各地でバラバラに運用されているため、各地で PCR 検査を受ける必要があるなど、デジタル化中国にしては珍しく不便な現象も起きています。また、発電の 8 割以上を水力に頼っている四川省では水不足による深刻な電力不足が続いています。このような困難な状況が続く中国ですが、双循環の中の国内大循環を受けて「中国流」を軸にした中国企業・中国ブランドの製品・サービス品質も安定してきており、市場での存在感も増してきました。その一方で、日本企業や欧米企業等の外資系企業が、中国で事業を継続する環境も大きく変化しています。このような中国で、新しいエコシステムをどのように形成するかが、重要な成功要因だと考えます。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

1. 2022 年上半期 中国株式投資の動向

2022 年上半期の中国株式投資市場は、複数の要因によって減速しました。一方、多くの省・市が実体経済の発展を支援するために産業指導資金政策を導入し、政府指導資金は上半期の趨勢に反して増加しました。KPMG 中国が発表したレポート「2022 年上半期の中国株式投資動態」は、今年上半期、コロナ禍、経済成長の鈍化、複雑で不安定な国際情勢がベンチャーキャピタル市場にさらなる不確実性をもたらし、ベンチャー・キャピタルとプライベート・エクイティ (PE/VC) 市場における投資、資金調達、エグジットが程度の差こそあれ影響を受けたことを指摘しています。本レポートは、2022 年上半期の中国株式投資市場の現状と特徴を、資金調達、投資、エグジットの 3 つの視点から分析・整理し、今後の市場動向をまとめた KPMG 中国の「中国株式動態」シリーズの第 2 弾です。

> [全文はこちら](#) (中国語)

2. After-AI 幻滅期 次世代ビジネスパーソンのためのデータ活用の勘所

AI での新たな価値創出とはどういったものなのでしょうか。AI を用いた価値創出のカギは「いかにして人の限界を突破できるか」であると筆者は考えています。AI は大きく 2 つに大別できます。1 つは自律化・自動化の観点で、人の判断では立ち行かないような瞬時の高精度な制御等に用いるパターン。こちらは AI が主役の世界で、自動運転や異常検知、工場 IoT 等が該当します。もう 1 つは人が主役で、思考・発想を増幅させるのに AI を活用するパターン。膨大すぎる情報を人

が捌くのは不可能であり、AI が人に気づきを与えて発想を刺激することで、新規事業の創出や経営上の意思決定につなげていくことが期待されます。

> [全文はこちら](#) (日本語)

3. これからのクラウドセキュリティ管理～日々の変化を前提に

企業におけるクラウド活用の場面が急速に広がっています。メールやチャット、ビデオ会議といった日々の業務に不可欠なコミュニケーションをはじめ、営業・顧客管理を支援する SaaS や顧客やパートナーに新たな価値を提供する PaaS、IaaS に至るまで、今やクラウドを活用しないビジネスシーンを探すほうが難しいかもしれません。DX の促進を背景に、企業におけるクラウド活用が急速に広がっていますが、クラウド特有のリスクに注意が必要です。柔軟性が高く、迅速なビジネス展開を実現する基盤として、幅広く重宝され始めたクラウドサービスですが、オンプレミスとは異なるリスクも潜んでいます。クラウドサービスを安全に活用しメリットを最大限に享受するには、自社がどこまで責任を持って管理すべきかを整理し、その責任を果たすことが重要です。ただ、クラウド環境の設定からアプリケーションの脆弱性管理に至るまで、日々クラウド基盤が変化する中、手作業でそのすべてをまかなうのは現実的ではありません。

> [全文はこちら](#) (日本語)

4. 脱炭素社会への考察

資源価格高騰を契機に高まるインフレ懸念や不安定化する国際情勢を背景に、脱炭素に向けた取り組みの行方も不透明さを増しています。一方、こうした国外で起こる事象に影響を受けながら、国内でも電力需給ひっ迫などの問題が発生しており、1 次資源に乏しい日本ではエネルギー安全保障の確保にあらためてスポットが当てられています。このような、ますます複雑化する現在の外部環境を読み解いたうえで、今後の戦略を描くことも困難さを増し続けています。本連載は、2021 年の COP26 前後における KPMG のプロフェッショナルによる考察です。しかしながら、混迷を極めつつも脱炭素に向けた本質を考えることについての原則は不変です。本コンテンツが貴社の脱炭素に向けた検討の一助になれば幸いです。

> [全文はこちら](#) (日本語)

<ご参考> COVID-19 対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫” (中国語) [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights (英語) [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響 (KPMG ジャパン) [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: gjpmarkets.china@kpmg.com

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+86(21)22122247) (日本語)